

化学療法における口内炎処方

川部店

口内炎

口内炎は外観も大きさもさまざまで、小水疱やフラと呼ばれる粘膜が盛り上がって中に水がたまる水疱ができたり、潰瘍（かいよう）ができたりします。潰瘍とは、口腔粘膜の細胞の最上層が崩壊して、その下にある組織が露出してできる穴のことです。穴の内部に残った死んだ細胞と食べもののかすのために、潰瘍は白っぽい色になります。口内炎は、口の内側にも外側にもできます。アフタ性口内炎（潰瘍性口内炎）と、ヘルペス性口内炎（口唇ヘルペス）がよく知られていますが、ほかにもさまざまな原因による口内炎がいろいろあります。（メルクマニュアルより抜粋）

患者概要

男性 60代 新患

数日前A病院退院後、初めての外来受診。

併用薬に関しては、「退院時のものがある」と返答あるが、詳細な薬名については分からないとの事。

処方

Rp1 ザイロリック錠 100 100 mg 5T
精製水 500ml
うがい：（口内炎、1回 10ml 使用）

調整法

ザイロリック錠を粉砕・懸濁しハイカップにて投与。